

第3四半期トピックス

BSジャパン「月刊！BSナナナ便り」で放送！

BSジャパンが放送する企業情報番組「月刊！BSナナナ便り」にて当社グループが提供するクラウドサービス「LIVE UNIVERSE」と「バス事業者支援サービス」が紹介されました。

紹介されたサービスは、人手不足を課題とするサービス業界で効率よく店舗スタッフを育成するための「双方向動画」を活用したサービスと地方交通の足として重要な路線バスを支援・活性化させるものであり、「働き方改革」や「地域活性化」をテーマとしたサービスです。

当社グループではお客様の業務課題に合わせて、これらのサービスの拡販を進めてまいります。



株主優待のご案内

当社は、毎年3月末日を基準日として、株主優待のJCBギフトカードをお送りしています。

お送りする時期は、当社定時株主総会終了後の6月15日(予定)となります。

下記のご所有株式数に応じたJCBギフトカードを贈呈いたします。

ご所有株式数	ご優待商品
100株以上500株未満	JCBギフトカード2,000円
500株以上	JCBギフトカード4,000円

※株式等振替制度上、2018年3月末日基準日の株主優待をお受けになるためには、権利確定日である2018年3月27日までに株式を購入していただく必要があります。

IRカレンダー(予定)

5月10日(木):通期決算発表

6月14日(木):第36期定時株主総会

6月15日(金):株主優待発送、期末配当金お支払い開始

こんなところにユニリタ！

東京工業大学が「Waha! Transformer」を採用

2004年、国立大学の法人化に伴い、各大学では個性を活かすために「大学経営に必要な情報収集の仕組み構築と経営層への情報提供」という取り組みが重要となってきました。

東京工業大学様では、教育の質の維持・向上を行うために「大学教員活動の総合的な指標化」の検討に着手しました。

【主な指標例】

- ・ 発表論文数(どれだけ活発に活動をしているか)
- ・ 論文の被引用数(どれだけ注目されているか)
- ・ 国際的な研究協力の件数

これまで、これらのデータは別々のデータベースで管理されており、また、多種多様なデータ形式で保存されていました。そのためデータを一つのExcelファイルにまとめるにも手作業で時間が掛かり、膨大な仕事を少ないスタッフで自転車操業的な状況でこなさなければなりません。

この状況を解決するために導入されたのが、当社のETLツール「Waha! Transformer」です。東京工業大学様が注目したのは、Waha!を使えば膨大なデータの抽出、分析などを「スピーディーに誰がやっても同じ結果が導き出せる」という点でした。

同校では、さらにWaha!の活用範囲を広げることで、より大学教員の「研究」と「教育」の両立を支援し、教育の質の維持・向上を推進していくとのことです。

会社概要 (2017年12月31日現在)

商号 株式会社ユニリタ
設立 1982年5月
上場 東京証券取引所 JASDAQ(証券コード:3800)
資本金 13億3,000万円
所在地 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
お問合せ 広報IR室 TEL:03-5463-6384
Mail:ir_info@unirita.co.jp

株式会社ユニリタ
証券コード:3800

UNIRITA

3Q

平成30年3月期 第3四半期

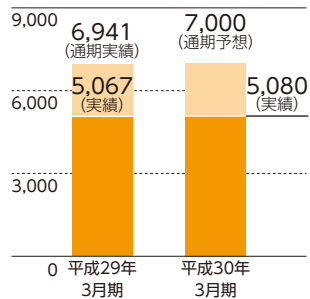
決算レポート

平成29年4月1日～平成29年12月31日

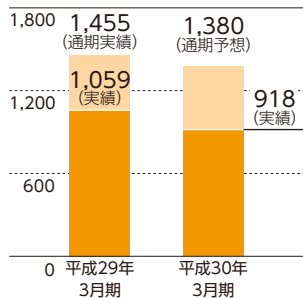
- 株主の皆さまへ
- 新グループ会社、(株)無限について

第3四半期業績ハイライト (単位：百万円)

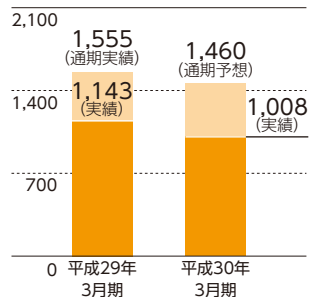
売上高



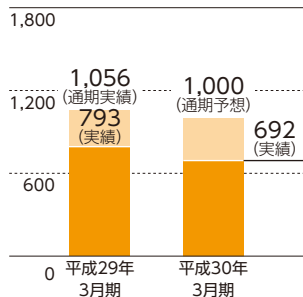
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



株主の皆さまへ



代表取締役
社長執行役員 北野 裕行

株主の皆さまにおかれましては、平素よりご高配を賜り、誠にありがとうございます。先般、2月5日に発表いたしました平成30年3月期第3四半期連結決算の概要をご報告申し上げます。

業績進捗は計画通り

当社では、自社開発パッケージソフトウェア事業を基軸とした事業の強みを活かし、デジタル変革に取り組むお客様の業務課題を直接解決するためのソリューションを提供できる事業体制作りに取り組んでいます。

当第3四半期、製品とサービスの付加価値向上や事業基盤強化のために行った主な取り組みは以下のとおりです。

- ① ㈱無限との業務提携を実施(2017年11月)。
(なお本件についてはその後、両社の技術力、業務ノウハウへの知見を合わせるにより、IT部門、事業部門さらに業務支援部門のデジタル変革ニーズに応える新たなプロダクトやITサービスの開発体制構築スピードを上げるために、同社の連結子会社化を決定いたしました。なお、損益計算書上の連結は来期からとなります。)
- ② ㈱アイネットとの資本業務提携(2017年5月締結)を受け、当社のセキュリティソリューションを同社のクラウドサービスプラットフォーム上で提供開始。
- ③ ㈱ゴールデンマジックに導入されたLIVE UNIVERSE(「双方向動画」を活用した社員教育の仕組み)に、AIが人の目に代わり料理の完成度を評価する機能を追加。人手不足や働き方改革を課題とするサービス業界への販促を推進。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高50億80百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益9億18百万円(同13.2%減)、経常利益10億8百万円(同11.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億92百万円(同12.6%減)となりました。

来期スタートの新中期経営計画を策定

当社では、今般、2018年度を初年度とする3カ年の中期経営計画を策定しました。本中計のテーマは、「専門性を高めた事業の拡大～既存事業の強みに磨きをかけること、そしてデジタル変革に

対応する新たな領域への積極的な先行投資～」です。本中計の概要につきましては、特集レポートとして別冊にまとめましたので、ご参照お願い申し上げます。本中計の最終年度(2020年度)におきまして、売上高110億円、営業利益20億円、DOE4.5%、1株当たり配当金71円を目指す計画です。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新たなユニリタグループの一員、㈱無限

当社は2018年2月15日に㈱無限の株式を取得し、連結子会社化しました。今回は、新たにユニリタグループの一員となった㈱無限についてご紹介します。

同社は企業の業務システム開発と、業務支援部門向けパッケージソフト「らくらくBOSS」を提供しています。

「らくらくBOSS」について

企業での定期券や旅費などの経費精算は、申請をついで後回しにしていたまま、紙での申請は記入漏れや計算ミスもあり確認に時間がかかる、といった事業部や業務支援部門の課題を解決するパッケージ製品を提供しています。

同製品は、㈱東急ハンズ、㈱コーセー、ぴあ㈱など600社に導入されており、企業の生産性向上に貢献しています。



グループとしてのシナジーを狙う

当社は、パッケージソフトメーカーとしてのグループ総合力を活かした事業成長のために、同社の技術力を「プロダクトならびにクラウドサービスの開発迅速化と業務ノウハウを活用したデジタル変革に対応したサービスの創出」「お客様の課題解決にあたって業務システムで培われた専門性の活用」に、また同社のパッケージ製品の顧客基盤を「業務支援部門へのマーケット拡大」に活かす計画です。

当社の製品とソリューションをお客様の業務課題に対してより広範に、かつスピード感をもってご提供してまいります。

IRトピックス

フィスコ企業調査レポート発行

2017年12月に㈱フィスコより、当社の企業調査レポートが発行されました。本レポートでは、当社の2018年3月期の中間期の決算内容、事業内容の概況についてポイントがまとめられています。

【最新レポートのハイライト】

- 顧客のデジタル変革の実現を共創するパートナーを目指す
- ビッグデータや働き方改革の関連分野に高い伸び
- 「メインフレーム事業」の収益をもとに事業開拓

詳細はこちら>>

ユニリタ フィスコ

検索